

GREEN PARTNER

Mark Guideline

グリーンパートナー

マークガイドライン ver. 3 | September 2024



このガイドラインは「グリーンパートナーマーク」の基本的な設定と運用について示したものです。

本マークは、

- ・森林整備への支援等を通じて脱炭素に貢献する証（「森林×脱炭素チャレンジ」への応募者）
 - ・森林整備への支援等を通じてカーボンニュートラルの実現や生物多様性の保全に貢献する証（「森林×ACTチャレンジ」への応募者）
- として「グリーンパートナー」が取組のPRに使用することで森林整備の輪の拡大につなげていくことを狙いとしています。

そのため、マークは一貫性を保ち使用されることが必要です。

マークの使用者はこのガイドラインを参考に

「明確な視認性」と「忠実な再現性」を厳守してください。

なお、本ガイドライン上で例示しているマークは、令和4年度の募集（森林×脱炭素チャレンジ2022）に係る「グリーンパートナー2022マーク」ですが、それ以降の年度のマークについても本ガイドラインを準用することとします。

01 マーク

マークのデータは、
変形・加工せず、そのまま利用することを原則とします。
必ず林野庁より提供したデータを利用してください。
また、使用媒体でカラー表現が不可の場合、
1色表示が使用できます。



4 色表示



1 色表示



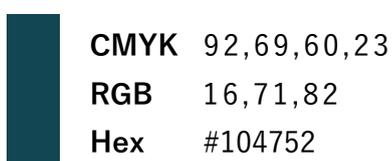
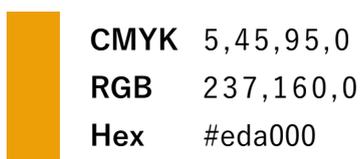
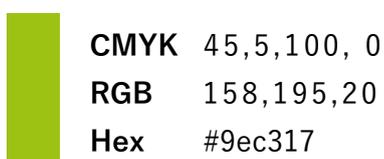
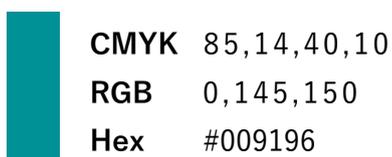
反転

02 カラー表現

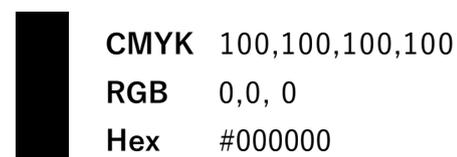
マークの使用に際しては、
仕上がり色が指定の色になるように正確に再現してください。



4 色表示



1 色表示



03 アイソレーション（保護エリア）と最小使用サイズ

マークを表示する際には、
他の要素に干渉されないように周辺に保護エリアを設けてください。
この領域内には原則として
他のデザイン要素や文字などを表示してはいけません。
最小使用サイズには制限はありませんが、
文字要素の可読性を保てるサイズでご使用ください。

保護エリア



04 マーク利用禁止事項

マークの一貫性を保ち、取組の認知度を向上するために、
認められていない色、形での表示・変更をおこなわないよう、
禁止例を参考に利用してください。



× 変形させない



× フォント・色を
変えない

GREEN
PARTNER 2022
JAPAN

× 省略しない



× 表示色を変えない



× トリミングしない



× 要素を変えない



× マークの視認性が
悪い背景の上に
表示しない



◎ 白ブチやドロップシャドウなど
視認性を保つための加工は可能

